

望郷 (1937)

PEPE-LE-MOKO

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 94分

初公開日 1939/02

公開情報 東和

【解説】

日本人好みのデュヴィヴィエの作品の中でもとりわけ支持されている“男の”メロドラマである。本作の翻案は日活や東映のアクション映画に少なからずあり、直接この映画を知らぬ人にも既視感のある話ではないか。舞台はアルジェリアのカスバ。パリを逃れ潜伏するペペ・ル・モコ（ギャバン）は、懐かしの町の匂いを身に纏う女ギャビー（M・バラン）にぞっこんとなり、甘い逢瀬を重ねる。いよいよ女の去る日が来て、慎重な男であったのに、軽率にも彼女を追って波止場に現れ、警察に捕まる。そして、最早、女と再会の叶わぬのを悟り、自ら脇腹をナイフで突いて死ぬ。女との別れの間際“ギャビー”と叫ぶ声が船の汽笛にかき消える名場面は伝説化しているが、この時みせるギャバンの眼の表情の哀しさには演技を越えたものがある。刑事スリマンとの奇妙な友情、目をかけている少年ピエロなど脇の人物もよく描かれ、何より迷路のようなカスバの街がエキゾチックで素敵なのだ。

【クレジット】

監督	ジュリアン・デュヴィヴィエ	Julien Duvivier
原作	ロジェ・ダシエルベ	Roger D'Ashlbe
脚本	アンリ・ジャンソン	Henri Jeanson
	ロジェ・ダシエルベ	Roger D'Ashlbe
撮影	ジュール・クリュージュ	Jules Kruger
音楽	ヴィンセント・スコット	Vincent Scotto
出演	ジャン・ギャバン	Jean Gabin
	ミレーユ・バラン	Mireille Balin
	リーヌ・ノロ	Line Noro
	リュカ・クリドウ	
	ルネ・カール	Renee Carl
	マルセル・ダリオ	Marcel Dalio